

千曲川逆流し決壊



堤防が決壊した千曲川の現場付近。復旧作業が続けられている。(15日午前9時8分、長野市(本社ヘリから、恵守撮影))

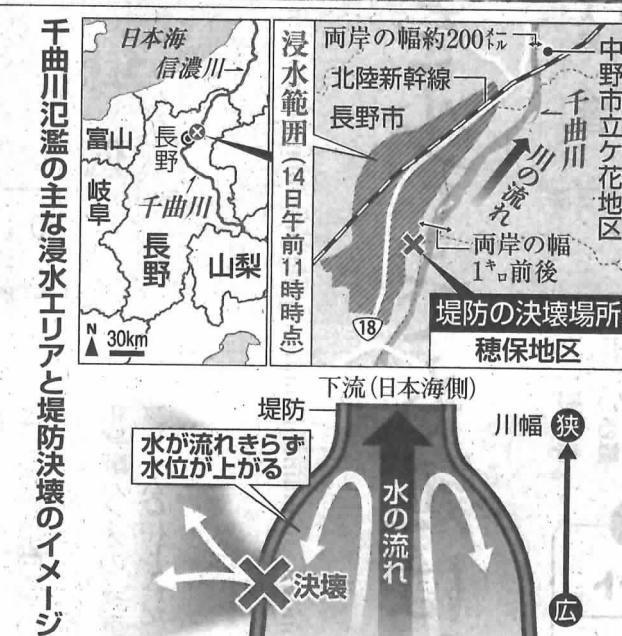
千曲川の氾濫では、気象庁の度重なる注意喚起に加え、自治体の呼びかけにも反応して、早期に避難したこと。一方、逃げ遅れた住民も出ており、避難行動の難しさが突きつけられた。専門家は「普段からハザードマップの確認を」

1800kmで発生、8日にかけて中心気圧が915hPaまで急降下。24時間で急

留所長は「かなり大規模な水蒸気量が川のように流れ込み、山地へぶつかつたの

堤防が決壊した千曲川の現場付近。復旧作業が続けられている。(15日午前9時8分、長野市(本社ヘリから、恵守撮影))

早期避難ハザードマップ確認重要



千曲川氾濫の主な浸水エリアと堤防決壊のイメージ

千曲川の氾濫では、気象庁が長野県に大雨警報を発令したのは12日午後3時半。長野市は午後6時には決壊した穂保地区に避難勧告を発令し、午後11時40分には指示に切り替えた。千曲川が氾濫したのは13日午前1時15分。その後、堤防が決壊した。

一方、辻本哲郎名誉教授(土木工学)は「ある箇所を直しても、そこに次ぐ2番目に脆弱な箇所が壊れるだけ。今後は川幅が狭い部分の強工事に加え、川底の掘削工事なども計画されている中での被害となつた。」

中央大の山田正教授(土木工学)は「ある箇所を直しても、そこに次ぐ2番目に脆弱な箇所が壊れるだけ。」と拡幅などを考へられるが、工事なども計画されている中での被害となつた。

今後は川幅が狭い部分の

国土交通省北陸地方整備局によると、川の水があるような形になり、上流部の水かさが増えたことが要因とみられる。専門家は「全流域で強い雨が降り続けるというめったにないことが起つた」とし、対策強化を訴えた。

■急速に削れる

成14~28年にかけ、堤防の幅を広げる増強工事をしたばかりだったが、今回の台風では約70mにわたって堤防が崩壊。担当者は「(整備した強度の)レベルを超える雨だった」とする。

(1面参照)

（河川工学）は「強固な堤防をつくっても、越水してしまうと強度が弱まる」と説明する。

■洪水対策計画中

決壊地点周辺では、昭和58年にも台風による大規模な洪水被害に見舞われている。この被害をモデルケ

全流域大雨、川幅狭い所で滞留

際、住民は腹をくくって避難することを考えないといけない」と語った。

台風19号について気象庁は名称を付けるかどうかを検討する。命名されれば「令和元年〇〇台風」となり、〇〇には地名が入ることになる。「伝承に必要」という基準に該当するかどうか、同庁は来年5月まで

気象庁は命名する基準を「損壊家屋一千棟以上、浸水1万棟以上。相当の人的被害」としており、今回は既に死者・行方不明者80人が確認されている。

ただ、台風の場合には

「後世への伝承の觀点から

特に名称を定める必要があ

る」と認められる場合」とい

う基準があり、気象庁はこ

れに該当するかどうか検討

する。被災地域が広範囲に

わたる今は検討が難航す

る可能性もある。

台風に命名されれば、昭

和52年の「沖永良部台風」

以来で42年ぶり。規定に沿

って応急活動中は「台風19号」の表記が使用される。

くします。百田氏が通史を語る時に何

度も涙する歴史上の瞬間と、その理由

も全公開。また、日本人はなぜ「天

皇」を語れないのか。教科書記述を例

に「子供たちは学校で天皇を学べない」ことを明らかにします。発行・産

経新聞出版。

「日本國紀」の天皇論」きょう発売

夕刊フジで好評連載中の有本香氏と作家・百田尚樹氏の共著『「日本國紀」の天皇論』(880円+税)が16日発売されます。

65万部突破のベストセラー『日本國紀』の著者と編集者が通史に浮かび上がる「日本にとっての天皇」を語り尽

日本國紀の天皇論

百田尚樹
有本香氏
100万部突破の連載「日本國紀」
子供に「天皇」を説明できます?
百田尚樹
有本香氏
何處も及ばず50年
全公開

たんにしよう
生涯に一度は読みたい古典の名作『歎異抄』

歎異抄をひらく

(たんにしよう)

1位!
単行本

紀伊國屋書店
大手町ビル店
9月第3週(9/16~22)